

修学旅行に向けて

修学旅行実行委員長 2年1組 水嶋 花菜子

私たちは、2学期から京都の歴史や文化財を調べたり学んだりして、修学旅行の準備をしてきました。

修学旅行のスローガンは、「絆+ ～KYOTO 102人の旅～」です。このスローガンには、修学旅行を通して生徒94人、先生8人の絆を深めようという意味が込められています。これを元をしっかり行動したいと思います。また、京都、奈良には有名な寺社や世界遺産などがあります。生徒が選んだそれぞれの研修場所のよさを味わい、歴史や文化を本物に触れて学んできたいと思います。

修学旅行が終わったら、仲が良く、自立し、全校の手本となる学年になりたいです。2年生全員の心に残る、楽しく、充実した修学旅行にします。



今年のしおり表紙

3月の予定（予定を変更することがあります）

3日(月)	卒業式練習	12日(水)	1年生実力テスト
4日(火)	卒業式予行		修学旅行2日目
	3年生同窓会入会式	13日(木)	修学旅行3日目
	卒業式準備(午後)	14日(金)	2年生修学旅行事後指導
5日(水)	第61回卒業式、給食なし	18日(火)	生徒集会
6日(木)	短縮授業		公立高校2次出願
	3年生入試事前指導	19日(水)	2年生実力テスト
7日(金)	公立高校学力検査	21日(金)	公立高校2次
10日(月)	2年生修学旅行事前指導	24日(月)	終業式
11日(火)	公立高校合格発表		公立高校2次合格発表
	修学旅行1日目	25日(火)	離任式



全校で問題解決を！

<ものが壊れる!?>

校内の電灯のスイッチや傘などの破損が後を絶ちません。先日、全校道徳授業を行い、破損の現状を全校生徒に知ってもらおうとともに、破損ゼロの学校を目指していこうと生徒に呼びかけました。また、その後各学級でも破損について考えてもらいました。生徒の中から「もっとこういった話し合いをすべきだ!」という前向きな意見も出てきました。その他にも「ポスターで呼びかける」「放課後見回りをする」といった対策が挙げられました。

<ものがなくなる!?>

コートやマフラー、傘など、物の紛失が今年に入って数件起きています。その都度、情報を集めるために生徒から話を聞いたり、アンケートをとったりしています。学校では以下のような指導を行っています。

- ・不要な物は学校に持ってこない。(金銭や学校の勉強に関係ない物)
- ・自分の持ち物には記名をする。(傘や靴、コートなど)
- ・高価な物は身につけない。(靴など)

ご家庭で話題にさせていただくとともに、お子さんと上記の点について確認をしてください。

これからも生徒一人一人が学校の諸問題に関心をもち、自分たちで良くしていこうとする気運を高められるように支援していこうと考えています。

〔生徒指導担当 舟本昌之〕

糸魚川市立青海中学校

「青中だより」

2月号



2月号 平成20年2月28日発行
糸魚川市大字寺地1160番地
ホームページ
<http://www.sc.city.itoigawa.niigata.jp/~omi-hs/>

目次

伝統となる行事の継続 3年間を振り返り	1
3年間を振り返り 在校生から卒業生へ 生徒会活動	2 3
修学旅行に向けて 3月の予定、お知らせ	4

伝統となる行事の継続

校長 新井 政明

平成19年度は、例年の活動に加えて創立60周年記念式典・本田路津子さんコンサート、初めてのキャリアスタートウィークの実施、そして「いじめゼロ集会」など青海中にとって特筆すべき年となりました。これも生徒の皆さん、そして保護者、地域や関係機関の皆様の御協力のお陰と感謝しています。現在、学校では卒業式を前に3年生を送る会や生徒会の引き継ぎなど年間のまとめの時期に入っています。

さて、青海中学校は生徒会三大大行事(体育祭、選択遠足、合唱コンクール)を中心にPTA体験活動(茶道、餅つき、そば作り、とんぼ玉作り、よさこいソーランなど9種目)、親子スキー、生徒会とPTAの交流会、資源物回収など多彩な行事が組織されています。このため、PTAの役員の方々や教職員が準備等に精力的に取り組んでくださっています。これらの行事は、いずれも「学年縦割り」で行われています。そのこともあり、「学校に来ることが楽しい」と答えている生徒の割合は平均で85%を超えており、行事が自己有用感の高揚に寄与しているものと考えています。

これらの保護者と連携して行う縦割り行事は、青海中の特色であり、よき伝統となっていると思います。平成20年度は、県中学校教育研究会キャリア教育の発表の年にあたっています。新たな行事が入ってくる中で、教職員の知恵を出し合い新年度の教育計画を策定しています。今後とも協働して青海中の生徒を向上させていきたいと思っています。どうか御協力をよろしくお願いいたします。

3年間を振り返り

「中学生になって成長したこと」 3年1組 山田 圭祐

僕が中学生になって成長したと感じることは、努力の積み重ねについてです。

1年生のときは何もかもが新しく新鮮に感じました。しかし、学校生活に慣れていくうちに学習がついていけなくなり、部活では技が上達しなくてすべてが中途半端になってしまいました。このままではいけないと思い、毎日少しずつ勉強や部活動に力を入れるようにしました。すると、2年生になってからテストの点数が伸び、部活でも新しい技に積極的にチャレンジできるようになりました。3年生になってからはさらに真剣に勉強に取り組み、こつこつ積み重ねていった結果、テストの点数を再び伸ばすことができました。

努力は本番に向けて毎日少しずつ積み重ねることに意味があると思います。僕は、何事も本番でしっかり力を発揮でき、自分で納得のいく良い結果を残すことができました。そして、「今まで自分がんばってきたのだから大丈夫。」という自信をもつことができました。



2月9日(土)PTA親子スキー



2月26日(火)校歌コンクール



平成17年度入学式

3年間を振り返り

「あっという間でした」 3年2組 斉藤 雪子

私が青海中学校で得たものは、「強い心」です。
この3年間、部活動や学校生活などで悩んだり、苦しんだりすることがたくさんありました。「逃げたい」と思ったことが何度もありましたが、それでも一生懸命努力をすると、その後で必ず良いことがありました。そのことから「努力は自分を裏切らない」ということを学びました。どんなに困難なことでも、あきらめずに努力をすればきっと報われるのだと思います。
青海中学校で過ごした3年間は、本当にあっという間でした。そのときは深刻に悩んでいたことも、今では懐かしい思い出です。この3年間で培った「強い心」を、これからの人生に生かしていきたいです。お世話になった先生方、3年間ありがとうございました。



「学んだこと」 3年3組 井出 みどり

4月にこの自然豊かな青海中学校に入学して、3年の月日が経とうとしています。今に至るまでの時間は、あっという間でした。
ふと思い出してみると、1年生のときの海岸での野外炊飯、初めての青中三人行事、2年生のときの職場見学、修学旅行、3年生になっての委員長経験、海外派遣など、楽しいことや初めての体験がいろいろありました。その中で私が学んだことはたくさんあります。特に、委員長と海外派遣の経験が、自分の成長に大変役立ちました。なぜなら、人前で話すことが苦手な私にとって、大きな成長のチャンスだったからです。委員会活動では全校の前に立って話をしたり、放送で連絡したりする機会がありました。また、海外派遣では、ことばの大切さや素晴らしさを改めて知ることができたので、自分の話す力にプラスになりました。中学生の間に、このような経験ができてよかったです。



卒業生へのメッセージ

「3年生の背中を見て」 新総務委員 2年3組 中村ユリア

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思い起こすとどんな3年間でしたか。
さて、今年度を振り返ってみると、生徒会として新たに「青中宣言」が出されたり、60周年記念式典が行われたりと、とても充実した1年だったと思います。また、青中三人行事を振り返ると、選択遠足はアンケートを活用し、各コースを見直してより楽しめる遠足になったと思います。体育祭は、夏休みからの準備を各団ごとに一生懸命できました。合唱コンクールは、限られた日数の中で各学級とも昼、放課後を使って練習を重ね、当日は素晴らしい合唱にできたと思います。その他に、いじめゼロ集会を開催し、いじめ防止に対する考えを全校で深めることができました。
私たちは、3年生が今まで引き継ぎ、築き上げてきた青中の伝統を大切に、さらに飛躍しなければなりません。行事、委員会活動、部活動など、3年生のがんばりを見てきて、それに負けないようにしたいと思います。3年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。これからのご活躍を祈っています。

「贈ることば」 新総務委員 1年1組 河治 大生

4月、新1年生として入学してきた僕たちに待っていたのは、再び下級生として先輩後輩の関係を築いていく不安など、心配することばかりでした。
校舎に入り、初めて授業を受けた瞬間、中学生になったことを実感しました。しかし、中学生として本当に学校になじめたのは、先輩たちのお陰です。今の1年生には3年生に兄弟がいる人が多く、そのせいもあるかもしれません。しかし、そうではない1年生にも親切に接してくれた優しい先輩たちがいたことも事実です。
僕たちが入学してもう1年が経とうとしています。僕たち1年生は2年生に、2年生は最上級生に、そして、3年生はそれぞれの道に進むことになります。在校生の僕たちとは違い、先輩方には新しい環境でのスタートが待っています。青中の卒業生としての誇りを胸に、これからはがんばってください。ぼくたちも負けずにがんばろうと思います。

生徒会活動の締めくくり そして引継ぎ…

今年度第2回目の生徒総会が先日行われました。各クラスからの質問や要望を全校生徒で確認し合う機会が、年2回だけというのは少ないのかもしれませんが。何か問題が生じたとき、たった一人で問題に向き合うのは頼りないものです。しかし、全校生徒が関わり合い、解決のために前向きな意見が出てくると、後押しの大きな力となってどんな問題でも解決できるように感じます。これこそ、生徒会活動の醍醐味なのではないでしょうか。
[生徒会担当 熊本こずえ]



平成20年度 三役・総務委員		新年度の生徒会リーダーです	
生徒会長	野本 真由(2-1)	平成20年度 専門委員長	
副会長	水島 滉平(2-2)	生活委員会	渡邊 翔馬(2-2)
	岡野 百恵(2-2)	新聞委員会	鈴木 萌(2-1)
総務委員	秋山 将輝(2-3)	放送委員会	武藤 美帆(2-2)
	渡辺 成生(2-1)	図書委員会	小野 梓(2-3)
	白澤 卓也(2-2)	保健委員会	堀井 唯月(2-2)
	伊藤 誠也(2-3)	給食委員会	弓矢 一毅(2-2)
	藤田瑛里奈(2-2)	環境委員会	猪又 彩希(2-1)
	中村ユリア(2-3)	購買委員会	佐藤 郷(2-3)
	室 和明(1-1)	音楽委員会	高辻帆乃香(2-1)
	河治 大生(1-1)	体育委員会	山岸 空(2-3)
	和泉 里穂(1-1)	V S委員会	立尾菜々美(2-1)
	桐生 若菜(1-2)		
	渡邊なつき(1-3)		



() 内は現クラス